

仮設住宅へX'masプレゼント

三陸北部森林管理署



11月25日(金)、緑の国のサンタクロースとして、高野署長と河田上席森林官が山田町民グラウンドの仮設住宅を訪れ、沼崎山田町長にX'masツリーを贈呈しました。贈呈式終了後は、仮設住宅に入居されている方々も一緒に復興を祈りながら飾り付けを行いました。

X'masツリーは、枝の張った除伐木を人力により運び出し、台座は風倒木を30cm程度に輪切りし中央にドリルで穴を開けて制作しました。山田町には49箇所の仮設団地があり、そのうち、集会所(談話室)のある27団地に贈呈式明けの11月28日と29



沼崎山田町長(右)へ、トマツのミニチュアツリーを手渡す高野署長



各地からの便り

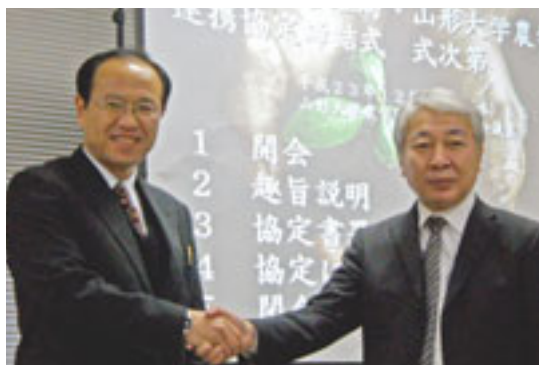
月が経ち、復興の兆しが感じられるようになりました。しかし、未だ避難生活で不自由な生活を余儀なくされている多くの方々がいるのが現実です。このX'masツリーで仮設団地に入居している方々が少しでも心の安らぎと明日への希望を持って頂ければと切に願います。

山形大学農学部と連携協定締結

指導普及課



山形大学農学部と東北森林管理局は、相互の連携と協力のもとで、森林・林業の再生、地域振興の推進及び



連携協定を締結し握手する西澤隆山形大学農学部長と矢部三雄東北森林管理局長

び生物多様性の保全をはじめとする森林の有する多面的機能の持続的發揮等に貢献できるような調査研究及び人材の育成等の促進を図ることを目的として、連携協定を締結しました。協定締結式は、平成23年12月21日15時30分から山形大学農学部2階会議室(鶴岡市)で行われ、西澤隆山形大学農学部長、矢部三雄東北森林管理局長が協定書に署名しました。その後の意見交換会では、西澤学部長が「森林文化都市を掲げる鶴岡にとっても大変有意義なことだ、矢部局長が「森林と林業の再生に向けて互いに手を取り合って進めたい」と述べたほか、関係者間で活発に意見交換が行われました。

協定締結式の後、同大301講義

日の両日でX'masツリーをお届けしました。

三陸沿岸地域に甚大な被害を及ぼした東日本大震災から、早や9カ



職員手作りのX'masツリー



みどりの東北

キブナハムシの被害程度と開花頻度の関係」、山形大学農学部菊池俊一准教授が「連携から見えてくる東北の森林の明日」と題して講演しました。



関係者で記念撮影

室において協定に基づく活動として公開講座を開催し、林業士の加藤周二氏が「国有林と山形大学農学部に期待すること」、山形森林管理署崎野健輔署長が「魅力いっぱい・山形の国有林!」、大学院農学研究科1年清野陽介氏が「ブナに対するウエツ

ミニコラム

「へえ〜、そうなんだ!」 完熟はいつ頃?

岩手北部森林管理署 技術専門官

松尾 亨

Tooru Matsuo

実りの秋とは言うものの、木の実の完熟期って? ... 冬の凍れを待って酸味や渋みが、甘さに変わる木の実は、オナガやシジュウカラは食べ頃を見極めて冬越しの食料とします。今回はこれらの樹木の実をクイズ形式で学んでみましょう。

秋のうちから甘いタイプもありますが、時間とともに渋く・甘く・芳しくと変化する木の実が動物や野鳥に、食べてもらうための工夫です。甘さや渋さは、時として人にも求められる要素ですが、人間としての熟し頃って? ... では、里山や高原にある6種類の樹木とつづのクイズに挑戦してみましょう。



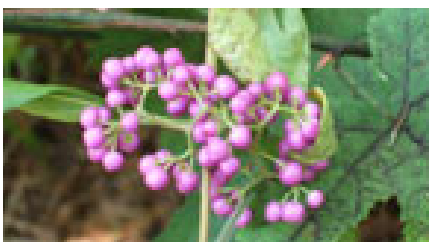
①牧草地や高原で見られ花は白く、葉が3裂することでエゾノコリンゴと区別します。



②変形した果柄が名の由来。果柄が厚く膨らみ、食べると甘く岩手の方言で「アマガゼ・アマザキ」



③ぱっくり開いた形がヒント、甘くてヤマネやモモンガも食べにきます。葉は3枚。



④初夏に薄紫の花を上向きにつけ葉は対生、方言で「ハシギ」。源氏物語がヒント。



⑤ニシキギの仲間ですがコルク質の翼はつかない。2個の実と蒴果が美しい。



⑥方言で「ジョウミ・ジュミ」と呼ばれ、熟すと甘酸っぱい。焼酎に漬けると赤く美しい果実酒となり利尿効果有り。

◆ 答え ①ズミ(バラ科) ②ケンボナシ(クロウメドキ) ③ミツバアケビ(アケビ科) ④ムラサキシキブ(クマツヅラ科) ⑤コマユミ(ニシキギ科) ⑥ガズミ(スイカズラ科)